

# ため池 ハザードマップ 戒川1番池・2番池

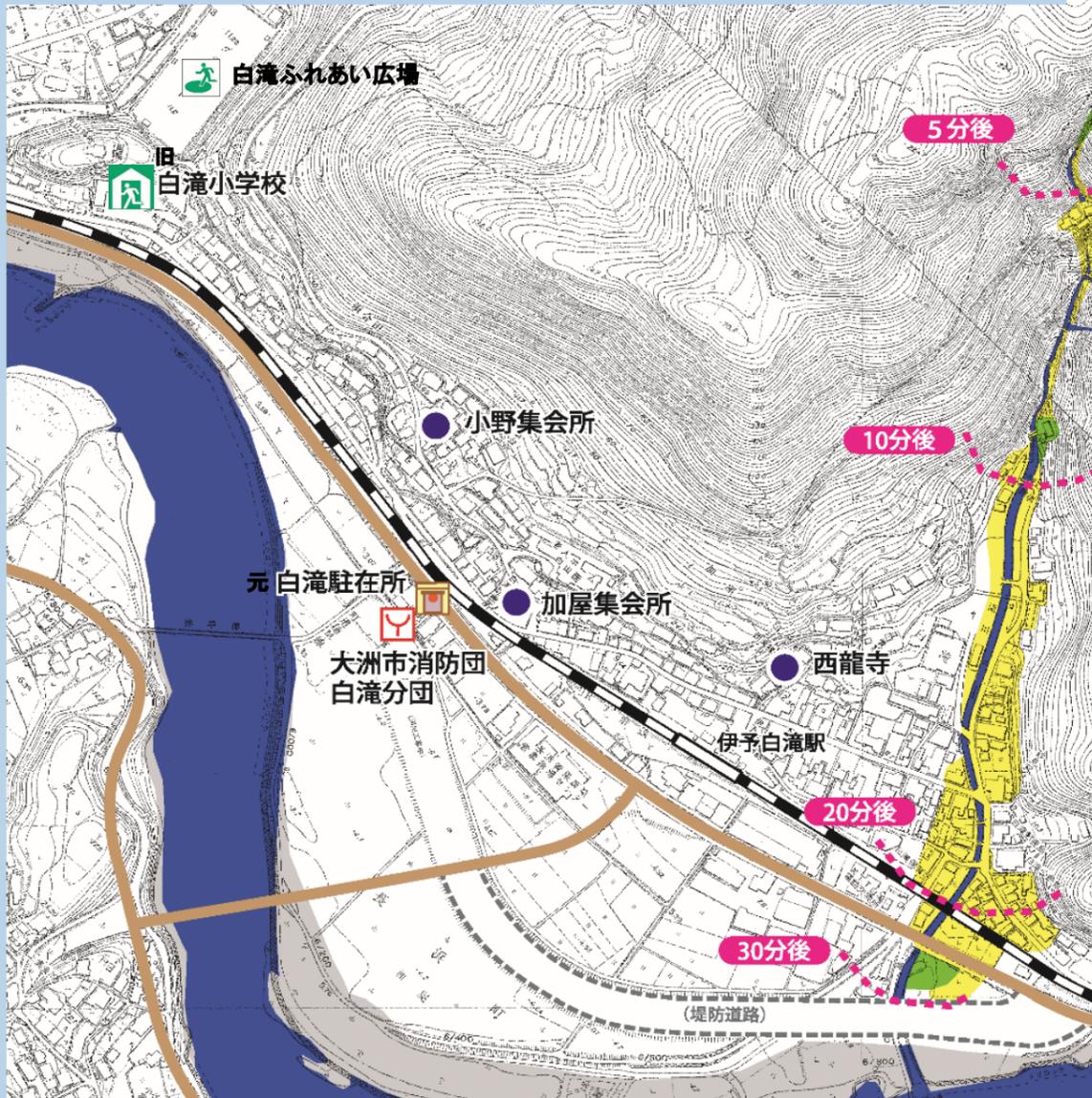
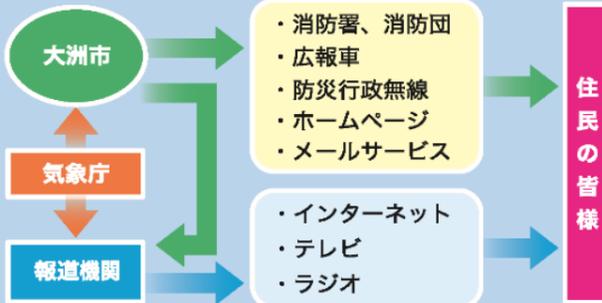
このマップは、農業用ため池の『戒川1番池・2番池』が、南海トラフ地震などによって大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊し、洪水が発生した場合を想定したもので、そのはん濫水が到達する可能性のある区域の最大範囲と、予想される浸水深を表示したものです。

実際のはん濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もありますが、地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げる」とが何よりも大切です。

地域の皆さんでこのマップをご活用いただき、地震時の安全確保に努めてください。



## 情報伝達の流れ



### 地図の凡例

- 指定避難所
- 緊急避難場所
- 駐在所
- 消防団
- 主要道路
- 鉄道(予讃線)

### ため池のはん濫に関する凡例

- 浸水深 1.0~2.0m
- 0.5~1.0m
- 0.5m未満
- 到達時間
- はん濫水の到達時間線

このハザードマップは、平成25年度のため池諸元(堤体状況等)にて作成しております。その後、ため池下流域の浸水被害軽減を図るため、平成29年度から令和元年度において、ため池の水位を下げる防災工事を実施していますので、現状ではこのハザードマップに示す浸水範囲及び水位が下回ると予想されます。



## 地震時の心得10ヶ条

- まず身の安全を**  
丈夫な机の下などに身を隠し身体を守る。普段から家具等の転倒・落下防止対策を。
- 落ち着いて火の始末**  
揺れがおさまってから、あわてず火の始末を。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。
- 戸を開けて出口の確保**  
震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。
- 火が出たらすぐ消火**  
万一出火しても、天井に燃え移る前ならあわてず初期消火。消火用具を準備しておきましょう。
- あわてて外に飛び出さない**  
瓦やガラスの落下の危険があり、飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。
- 狭い路地やブロック塀には注意**  
ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。普段から周りの安全を確認しましょう。
- 協力し合って避難支援と応急対応**  
地域ぐるみで協力し合い、避難できない方の避難支援と応急対応の体制を。
- 山崩れ、がけ崩れに注意**  
居住地の自然環境を把握して、二次災害防止の心掛けを。
- 避難は原則徒歩で**  
マイカーでの避難は危険なうえ、緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。
- 正しい情報を聞く**  
事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。